



投稿日時: 2014年3月11日 投稿者: kurukurupress

[← 前へ](#) [次へ →](#)

東京ビッグサイト「低炭素杯2014」で東久留米の取り組みが紹介されました



早期の低炭素社会への移行のために、全国での様々な草の根の活動をされている学校・有志・NPOなどが、その活動のプレゼンテーションを通じて交流を深め、学び合い、連携を広げていくのが「低炭素杯」で今年は、4年目です。



シンポジウムでは、東久留米市環境会議座長の石川勝一さんが、「資源循環型まちづくりから空気と水・緑を守る！」をテーマに、これまでの市内での主に次の活動を話されました。

- 1.市民の省エネ活動の成果を数値化する「環境カレンダー」
- 2.小学生エコキッズによる「フードマイル」地図づくり

3.有志による「湧水力発電」実験とこれまでの成果

その中で、石川さんは、「いづれも小さな取り組みですが、小学生から子育て世代およびシニア層までが広く参加し、未来につなげる活動となっている」ことを力説されました。

ほかの4名は、徳島県、栃木県、静岡県、芝浦工業大学からの方たちでした。

「環境カレンダー」により市民の省エネの成果を集計し、啓発活動を行ってきました。



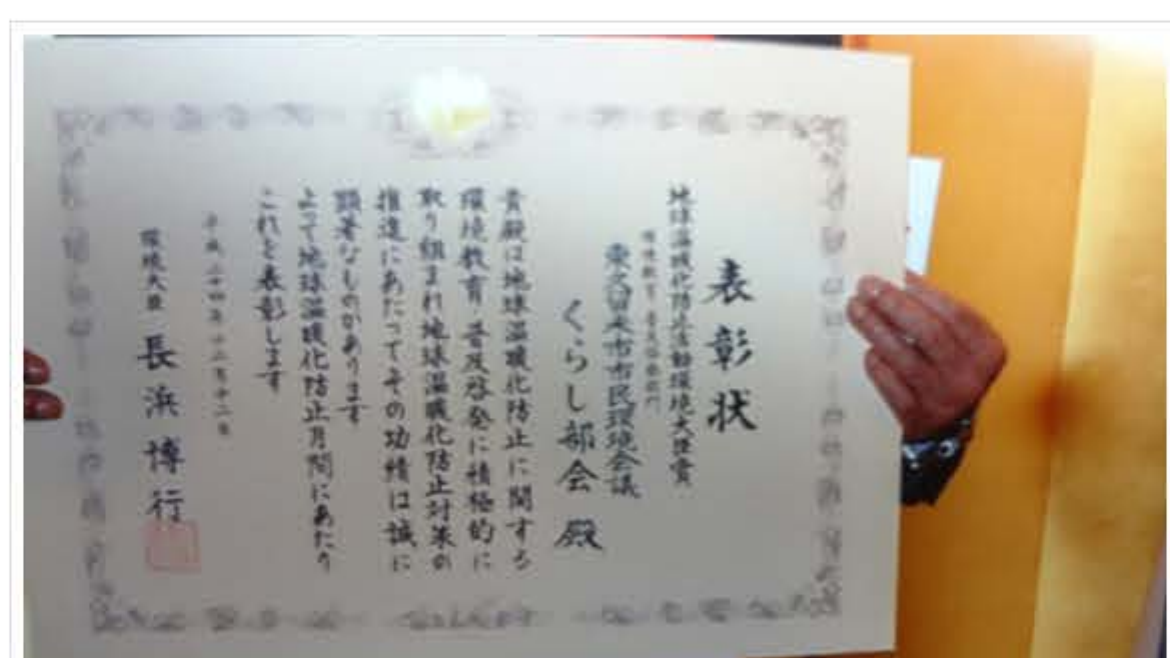
市内湧き川の支流域での「湧水力発電」により、公共トイレの一部の夜間照明を開始しました。



「フードマイル地図作り」を通して地産地消にたいする意識も高まっています。
参加した「エコキッズ」はこれまで7年間で120名にもなります。



以上の主な取り組みが評価され、平成24年に環境大臣賞を受賞しました。



(写真は、石川さんの了解をいただいて掲載しています)

市民レポ

ーター 球歩